避難行動における心理的特性（P.24～P.25）

ね　ら　い

災害時の心理的特性を踏まえ、適切に判断・行動できるようにする。

展　開　例　（防災訓練の事前・事後指導）

学習活動	指導上の留意点
1　導入 人の心理はこう動く（P.8）を読む。	・危機的状況にあっても人の心理により、避難行動が取れないことがあることをおさえる。
2　展開 ○危機的状況と行動心理について理解する。	
・正常性バイアスについて知る。 ・多数派同調バイアスについて知る。	・こんなことあるはずがないという正常性バイアスや、周りが動かないから大丈夫だろうという多数派同調バイアスなど、緊急時の適切な判断を鈍らせる心理的特性を理解させる。
○イメージの固定化について知る。	・過去の経験等による災害イメージの固定化が危険を招くこともあり、改めて災害は想定を超えることがあることをおさえる。
3　まとめ 「警報の空振りを良かったと思えるように」を読み、適切な判断について考える。	・人の心理的特性を踏まえ、災害時の適切な判断や行動につなげること、危険が迫っている時には、早めの避難が基本であることをおさえる。

参　　考

・P.6～P.9「災害から命を守るために」